

# ICT活用計画 作成マニュアル

ICT活用計画作成ツール\_Ver1.00対応

## ICT活用計画を作成するための4つの手順

- ①準備 ICT活用計画作成ツール、ICT活用カード、年間指導計画等を準備する
- ②入力 教科と単元名、学習指導要領の記号等を入力する。
- ③設定 ICTの活用例を見て、授業を設定・配置する
- ④印刷 ICT活用計画とICT活用授業内容詳細を印刷する

1. 各種資料の準備：ICT活用計画作成ツールと年間指導計画を準備，ICT活用カード（記載事項一覧）
2. 必要な情報の入力：教科と単元名，学習指導要領の記号等を入力
3. 授業の設定：入力されたICT活用計画を見て調整
4. ICT活用計画の印刷：調整されたICT活用計画を印刷

### ①準備

#### ①準備

### ICT活用計画を作成に必要な準備物

#### 各学校で 準備するもの

- ・ICT活用計画を作成するPC
- ・学校で作成した年間指導計画
- ・教科書会社の年間指導計画
- ・ICT活用到達目標一覧（チェック済みのもの）



- ・ICT活用計画作成ツール
- ・ICT活用カードまたはICT活用カード記載事項一覧

- ・Excelがインストール済みの，ICT活用計画を作成するPC
- ・学校で作成した年間指導計画（PDFまたは紙に印刷したもの）
- ・使用している教科書会社の年間指導計画（各教科書会社のHPなどでダウンロード）
- ・チェック済みのICT活用到達目標

①準備

## ICT活用計画を作成に必要な準備物

### 各学校で準備するもの



- ・ ICT活用計画を作成するPC
- ・ 学校で作成した年間指導計画
- ・ 教科書会社の年間指導計画
- ・ ICT活用到達目標一覧 (チェック済みのもの)
- ・ ICT活用計画作成ツール
- ・ ICT活用カードまたは ICT活用カード記載事項一覧

+ タブレ・マネージャーのWEBサイトから以下の資料をダウンロード

- ・ ICT活用計画作成ツール (PC上に準備)
- ・ ICT活用カードまたはICT活用カード記載事項一覧 (紙に印刷)

※なおICT活用計画作成ツールは、ExcelのVer2016と2019で動作確認済み

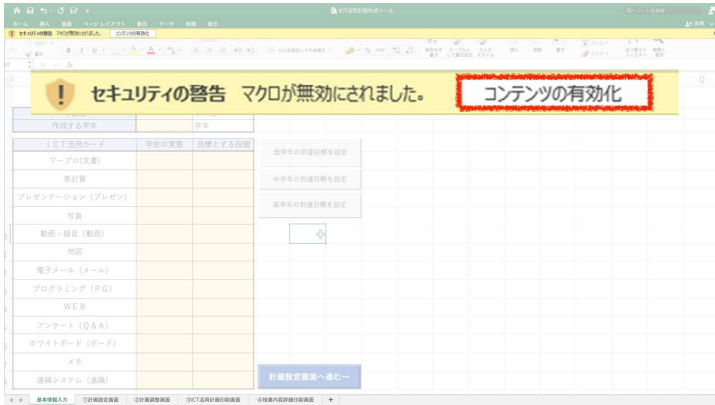
**【この動画の想定】**  
小学校3年生から一人1台  
タブレット端末が揃い  
3年生からICTを活用した  
授業が始まる

ここでは小学校3年生から一人1台の端末がそろい、3年生からICTを活用した授業が始まるという想定でICT活用計画を作成していきます。

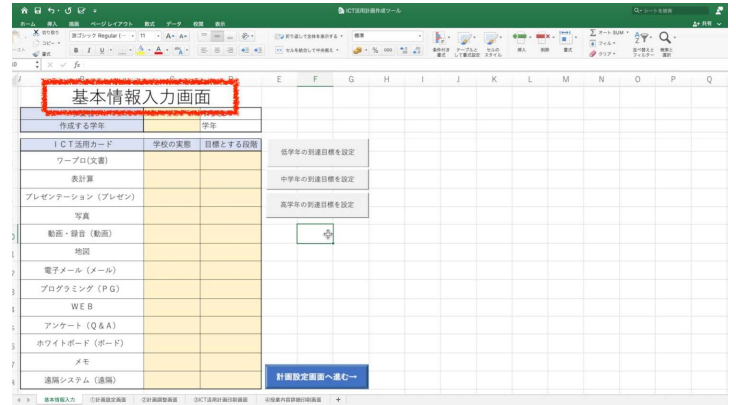
## ②入力



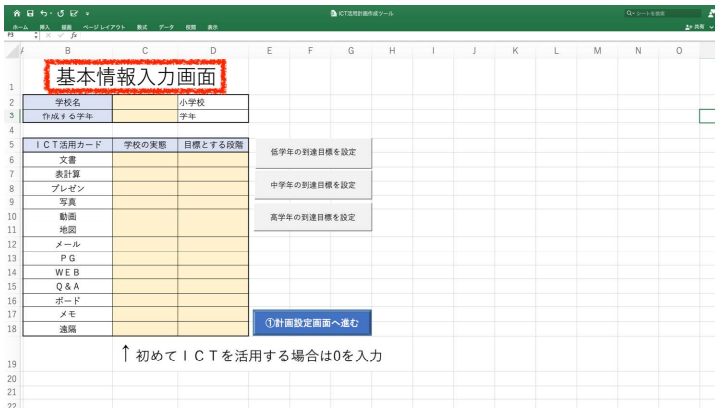
先ほど準備をした「ICT活用作成ツール」を開きます。



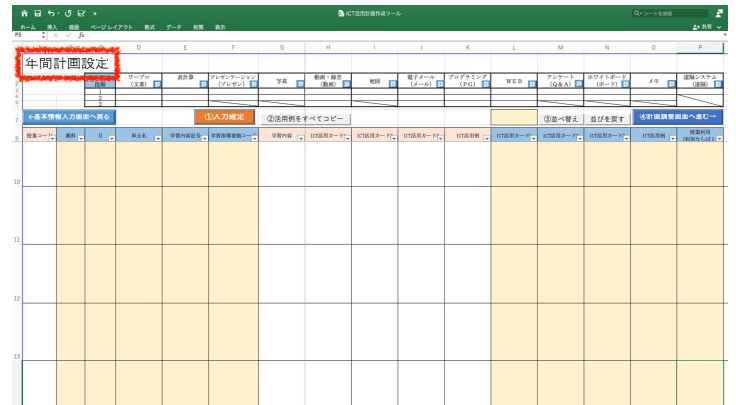
開いたときに、セキュリティの警告がでますが、「コンテンツの有効化」をクリックして、マクロを有効にします。



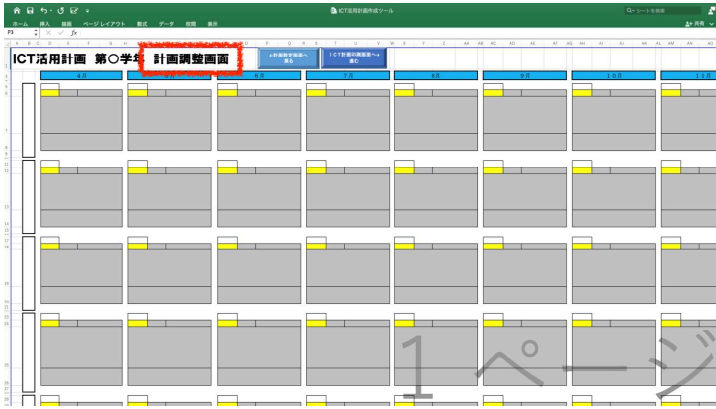
ICT活用計画作成ツールを開くと、このようになります。各画面について説明します。



ICT活用計画は、「基本情報入力画面」



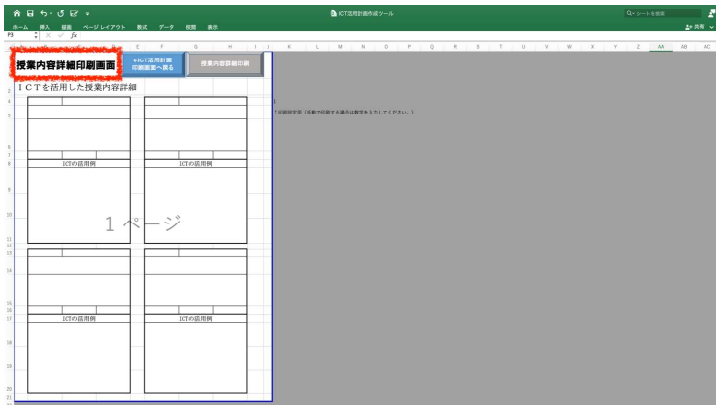
「計画設定画面」



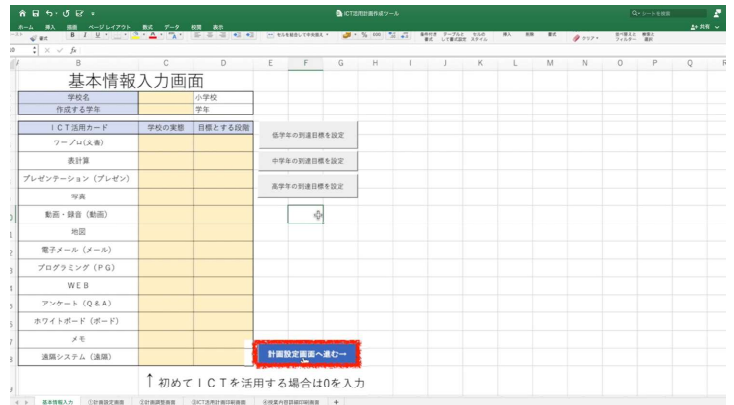
「計画調整画面」



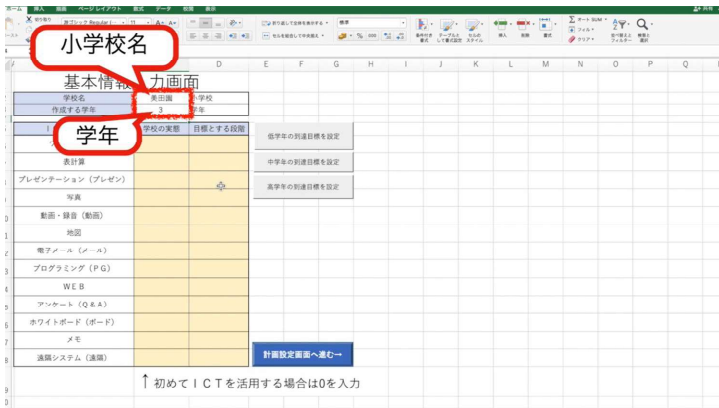
「ICT活用計画印刷画面」



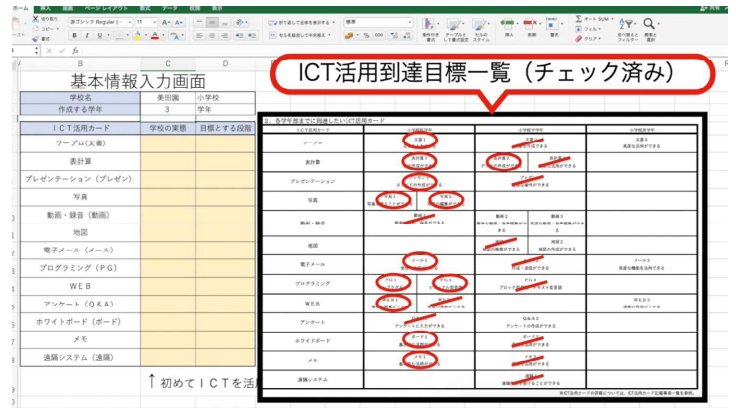
「授業内容詳細印刷画面」の5つのシートを使ってICT活用計画を作成していきます。



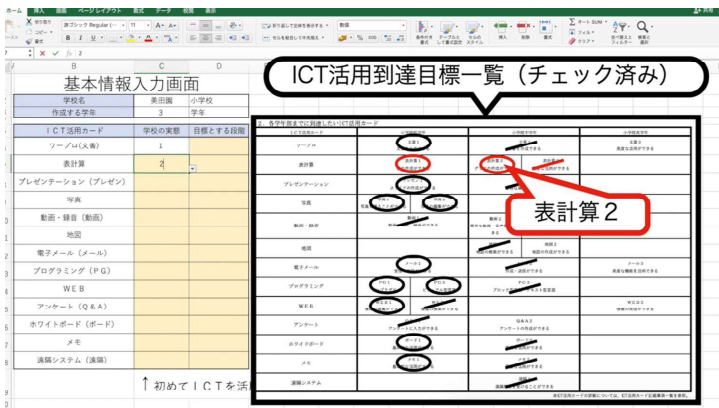
次に、画面の移動についてです。各画面には青いボタンがあり、青いボタンをクリックすると、画面を移動できます。ボタンをクリックして進めていくと、ICT活用計画が手順通りに正しく作成できる仕組みとなっています。画面を移動する際には、タブではなくボタンをクリックして画面を移動してください。



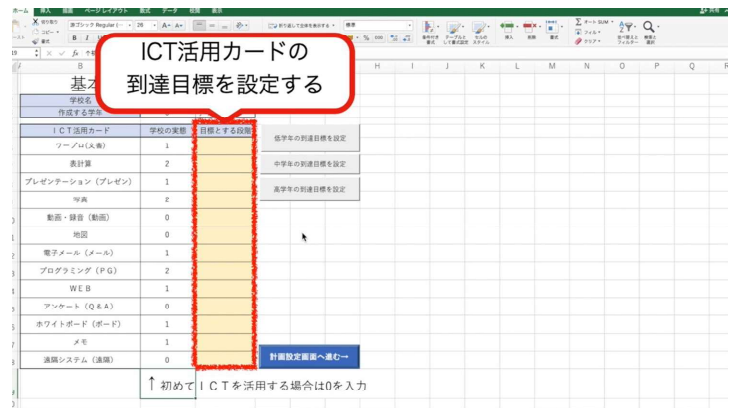
それでは、基本情報入力画面で、基本的な情報を入力していきます。まず、学校名、ICTを活用する学年を入力します。



その後、実態の把握で使用したチェック済みのICT活用到達目標一覧から学校の実態の列に数字で入力します。



この画面の例では、文書1に丸がついているので1、表計算2に丸がついているので2というように丸をつけていきます。動画・録音については、動画1に斜線がついています。この場合、0を入力します。このようにICTの活用を初めて行う場合は、0と入力します。



次に、ICT活用カードの到達目標を設定します。

基本情報入力画面		
学校名	美田園	小学校
作成する学年	3	学年
ICT活用カード	学校の実際	目標とする段階
ワープロ(大書)	1	2
表計算	2	3
プレゼンテーション(プレゼン)	1	2
写真	2	2
動画・録音(動画)	0	3
地図	0	2
電子メール(メール)	1	2
プログラミング(PG)	2	3
WEB	1	2
アンケート(Q&A)	0	3
ホワイトボード(ボード)	1	2
メモ	1	2
連携システム(連携)	0	1

ICT活用到達目標一覧の到達目標通りに設定したい場合は、

基本情報入力画面		
学校名	美田園	小学校
作成する学年	3	学年
ICT活用カード	学校の実際	目標とする段階
ワープロ(大書)	1	2
表計算	2	3
プレゼンテーション(プレゼン)	1	2
写真	2	2
動画・録音(動画)	0	3
地図	0	2
電子メール(メール)	1	2
プログラミング(PG)	2	3
WEB	1	2
アンケート(Q&A)	0	3
ホワイトボード(ボード)	1	2
メモ	1	2
連携システム(連携)	0	1

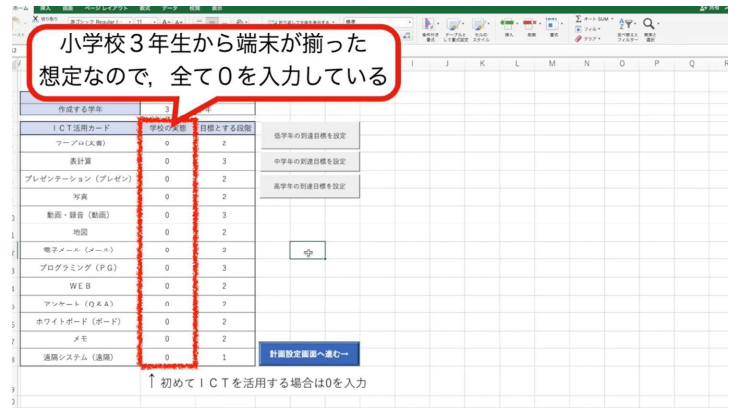
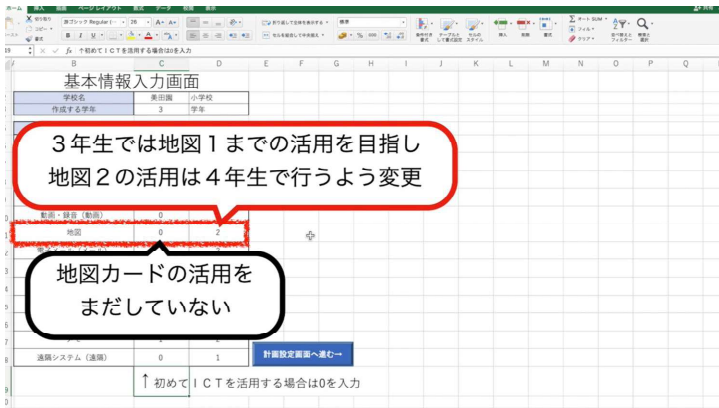
右側の「到達目標を設定」ボタンをクリックすると、到達目標が自動で表の「目標とする段階」に入力されます。

基本情報入力画面		
学校名	美田園	小学校
作成する学年	3	学年
ICT活用カード	学校の実際	目標とする段階
ワープロ(大書)	1	2
表計算	2	3
プレゼンテーション(プレゼン)	1	2
写真	2	2
動画・録音(動画)	0	3
地図	0	2
電子メール(メール)	1	2
プログラミング(PG)	2	3
WEB	1	2
アンケート(Q&A)	0	3
ホワイトボード(ボード)	1	2
メモ	1	2
連携システム(連携)	0	1

3学年の到達目標を設定する場合は、中学年の到達目標を設定ボタンをクリックします。なお、設定ボタンで設定した後、目標とする段階を更に変更することができます。

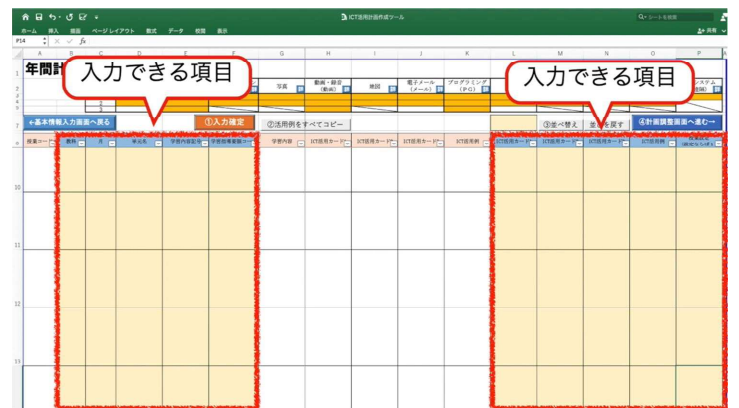
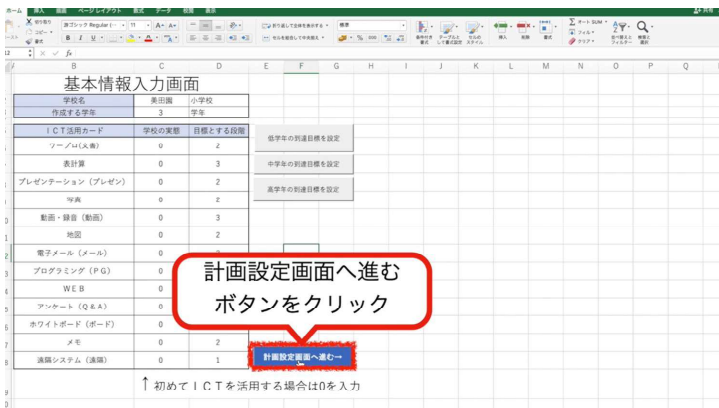
基本情報入力画面		
学校名	美田園	小学校
作成する学年	3	学年
ICT活用カード	学校の実際	目標とする段階
ワープロ(大書)	1	2
表計算	2	3
プレゼンテーション(プレゼン)	1	2
写真	2	2
動画・録音(動画)	0	3
地図	0	2
電子メール(メール)	1	2
プログラミング(PG)	2	3
WEB	1	2
アンケート(Q&A)	0	3
ホワイトボード(ボード)	1	2
メモ	1	2
連携システム(連携)	0	1

例えば、このような場合には



3年生で地図2までICT活用カードを目標とする段階が設定されています。しかし、学校の実態では0であり、地図カードの活用をまだ行っていませんので、3年生では地図1までの活用を目指し、地図2の活用については4年生で行うようにすることも考えられます。そのような場合は、地図の到達目標を2から1に直接変更ができるようになっています。このように、各学校の実態に合わせて、ICT活用カードの到達目標を設定していきます。

入力完了後の画面です。この動画では、小学校3年生から端末が揃った想定なので、学校の実態には全て0を入力しています。



基本情報入力画面の設定が終わったら、「計画設定画面へ進む」ボタンをクリックして計画設定画面へ進みます。

年間計画設定画面の入力できる項目には、黄色い色がついています。



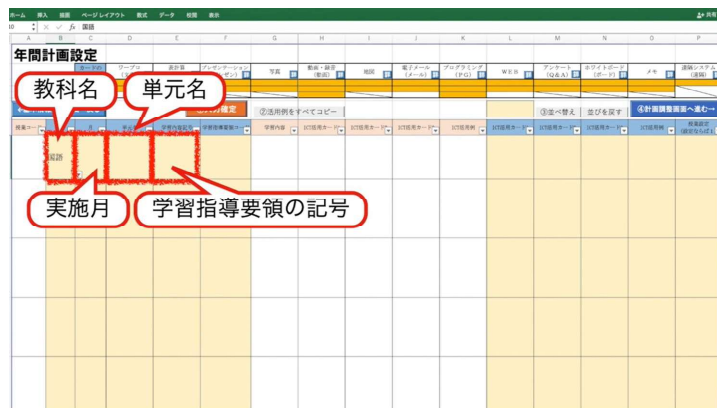
画面の上には、ICT活用カードの到達目標が表示されています。これは先ほど基本情報入力画面で設定したICT活用カードの「目標とする段階」に色がついています。



これは例えば、児童がICT活用カード「表計算」の活用を初めて行う場合で、「表計算3」まで活用を目指す場合は、表計算1、表計算2、表計算3のカードの活用を目標としていることを表しています。



もし、ICT活用カード「表計算」の活用が初めてではなく、表計算1まではすでに到達すべき目標に達しており、表計算2まで活用を目指す場合は、すでに到達している表計算1には色がついておらず、表計算2に色がつくようになっています。このように、色がついている部分は、目標とするICT活用カードを表しています。

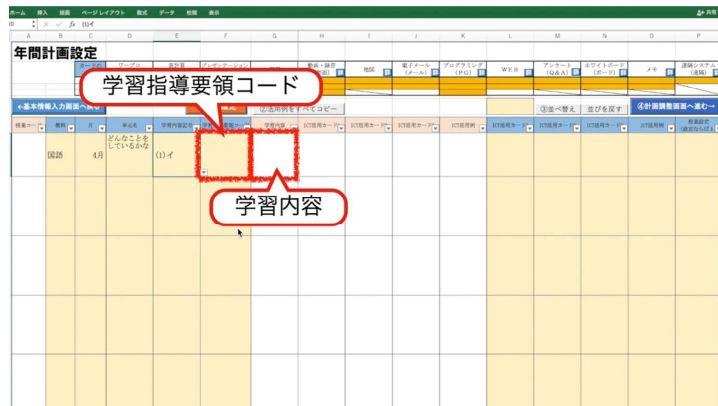


それでは、具体的に入力作業をします。ここで、各学校で作成した年間指導計画を基に、左側の入力する欄に教科名、実施月、単元名、学習指導要領の記号を入力します。

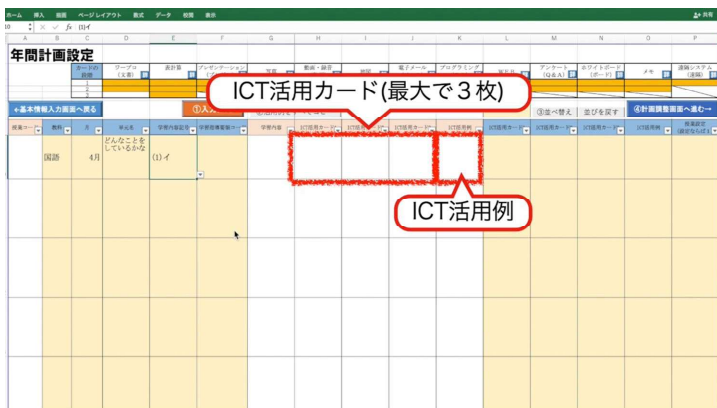




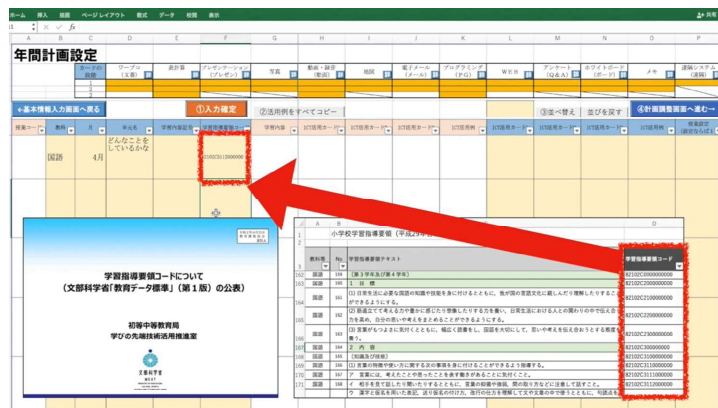
この学習指導要領の記号は、各教科書会社の年間指導計画単元一覧表を基に、単元名ごとに、関連する学習指導要領の記号を入力します。



この項目を入力すると、学習指導要領コード、学習内容と、



この単元で活用が考えられるICT活用カードとICTの活用例が自動で表示されます。



また、文部科学省が令和2年10月に、学習指導要領の内容や単元に割り振りをした「学習指導要領コード」を「学習指導要領の記号」の代わりに入力しても、自動でICTの活用例が表示されます。学習指導要領の記号または学習指導要領コードのどちらを入力しても、ICTの活用例が表示される仕組みとなっています。

学習指導要領記号を2行に分けて入力

(2)イ

B(1)ア

単元名	指導及び評価	実施日	実施場所	実施形態	実施時間	実施回数	実施内容	実施担当者	実施状況
どんなことをしているかな	(1)ア								
くらべられるかな	(2)イ								
物語の音読「チュウリップのフラッパ	(1)エ								
図書館を見学しよう	(3)オ								
国語じてんをぼう	(2)イ								
〇感そうをつたえよう	(1)カ(2)ア								
漢字のしぎ	(1)エ								
メモを取ろう	(1)カ(2)イ								
レポートを書いてみよう	(2)イ								

1つの単元名に対して、学習指導要領の記号が複数ある場合は、その記号の数の分だけ行を分けて入力します。このようにして、全教科入力していきます。

入力確定ボタンをクリック

①入力確定

年度	月	単元名	学習指導要領	実施日	実施場所	実施形態	実施時間	実施回数	実施内容	実施担当者	実施状況
2022	4	どんなことをしているかな	(1)イ								
2022	4	くらべてみよう	(2)イ								
2022	4	くらべてみよう	B(1)ア								
2022	4	物語の音読「チュウリップのフラッパ	(1)エ								
2022	4	物語の音読「チュウリップのフラッパ	(1)カ								
2022	4	物語の音読「チュウリップのフラッパ	B(1)ア								

こちらは、全教科入力した画面の例です。入力が終わりましたら、「①入力確定」ボタンを押してください。

授業コードが自動で割り振られる

③設定

年度	月	単元名	学習指導要領	実施日	実施場所	実施形態	実施時間	実施回数	実施内容	実施担当者	実施状況
2022	4	どんなことをしているかな	(1)イ								
2022	4	くらべてみよう	(2)イ								
2022	4	くらべてみよう	B(1)ア								
2022	4	物語の音読「チュウリップのフラッパ	(1)エ								
2022	4	物語の音読「チュウリップのフラッパ	(1)カ								
2022	4	物語の音読「チュウリップのフラッパ	B(1)ア								

入力確定ボタンを押すと、左側に授業コードが自動で割り振られます。ここで割り振られた授業コードは、計画調整画面で使用されます。

年度	学期	単元	学習内容	活用例	ICT活用	ICT活用内容	ICT活用方法	ICT活用効果	ICT活用評価	ICT活用改善	ICT活用評価	ICT活用改善
2021.4.8	国語	4月	ひんごをよんでいるかな	(1)イ	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用
2022.4.8	国語	4月	くらべてみよう	(2)イ	動画	動画	動画	動画	動画	動画	動画	動画
2023.4.8	国語	4月	くらべてみよう	B(1)ア	ボード	ボード	ボード	ボード	ボード	ボード	ボード	ボード
2024.4.8	国語	4月	物語の冒険	(1)ク	文章	文章	文章	文章	文章	文章	文章	文章

それでは、実際に授業の設定をします。「活用例を全てコピー」ボタンをクリックしてください。

年度	学期	単元	学習内容	活用例	ICT活用	ICT活用内容	ICT活用方法	ICT活用効果	ICT活用評価	ICT活用改善	ICT活用評価	ICT活用改善
2021.4.8	国語	4月	ひんごをよんでいるかな	(1)イ	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用
2022.4.8	国語	4月	くらべてみよう	(2)イ	動画	動画	動画	動画	動画	動画	動画	動画
2023.4.8	国語	4月	くらべてみよう	B(1)ア	ボード	ボード	ボード	ボード	ボード	ボード	ボード	ボード
2024.4.8	国語	4月	物語の冒険	(1)ク	文章	文章	文章	文章	文章	文章	文章	文章

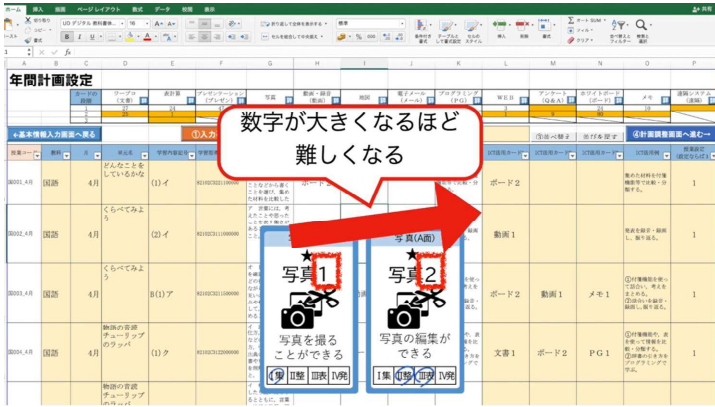
このボタンを押すことで、ICTの活用例がある全ての授業を設定することができます。

年度	学期	単元	学習内容	活用例	ICT活用	ICT活用内容	ICT活用方法	ICT活用効果	ICT活用評価	ICT活用改善	ICT活用評価	ICT活用改善
2021.4.8	国語	4月	ひんごをよんでいるかな	(1)イ	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用
2022.4.8	国語	4月	くらべてみよう	(2)イ	動画	動画	動画	動画	動画	動画	動画	動画
2023.4.8	国語	4月	くらべてみよう	B(1)ア	ボード	ボード	ボード	ボード	ボード	ボード	ボード	ボード
2024.4.8	国語	4月	物語の冒険	(1)ク	文章	文章	文章	文章	文章	文章	文章	文章

右側に1と入力されていますが、これは、この単元でICTを活用した授業を行うことを表しています。右側にICTの活用例をコピーした後は、設定された授業が実施可能かの確認をしていきます。

年度	学期	単元	学習内容	活用例	ICT活用	ICT活用内容	ICT活用方法	ICT活用効果	ICT活用評価	ICT活用改善	ICT活用評価	ICT活用改善
2021.4.8	国語	4月	ひんごをよんでいるかな	(1)イ	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用	ICT活用
2022.4.8	国語	4月	くらべてみよう	(2)イ	動画	動画	動画	動画	動画	動画	動画	動画
2023.4.8	国語	4月	くらべてみよう	B(1)ア	ボード	ボード	ボード	ボード	ボード	ボード	ボード	ボード
2024.4.8	国語	4月	物語の冒険	(1)ク	文章	文章	文章	文章	文章	文章	文章	文章

この動画では、写真カードを例に説明します。



ICT活用カードは、数字が大きくなるにつれ、使い方が難しくなるので、段階を追ってカード当てはめています。



写真カードの表示がある授業を検索するために、「③並べ替え」の左にあるプルダウンから「写真」を選択し、



「授業の並べ替え」ボタンをクリックして並べ替えをします。



並べ替えをした画面がこちらになります。写真カードの活用が予定されている単元に限定して、4月から順に一覧となって表示されます。この中で、写真カードが設定されている授業が実施可能かどうか、ICTの活用例を見ながら判断をします。



例えば、写真カードが活用例に設定してある4月の授業を見ると、音楽の授業に写真2と記載されています。しかし、ここではまだ写真1の活用をしたことはないため、写真2の活用を最初に授業で設定することは、難しいと考えられます。



そこで、音楽の授業に設定されている写真2の設定を取り消します。ICT活用カードの列にある「写真2」は消さずに一番右の1を削除することで、設定した授業を取り消すことができます。

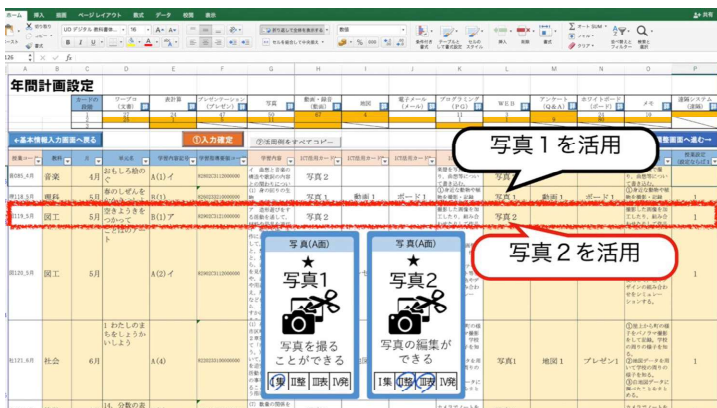
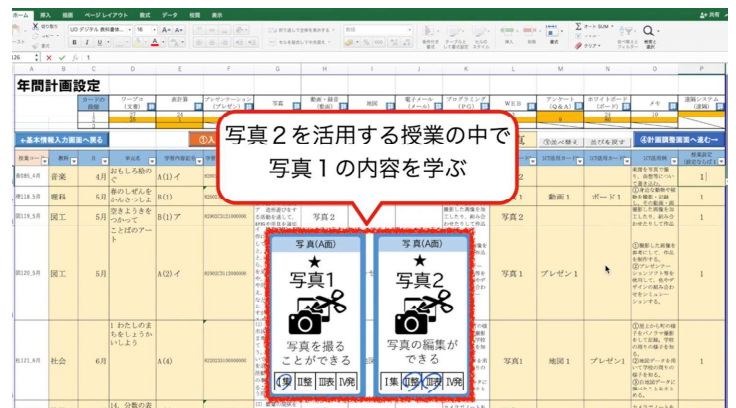


写真2のように上の段階のカードを活用する場合は、写真1のように下の段階を活用したあとに、写真2を活用した単元を設定するようにしていきましょう。



また、別の設定方法としては、授業設定を取り消すのではなく写真2を活用する授業の中で、写真1の内容を学ぶ方法もあります。

児童の実態に合わせて授業を設定し直していきましょう

写真1 写真2

写真1 (A面) 写真2 (A面)  
 写真を撮ることができる  
 写真の編集ができる

年度	月	単元	学習目標	学習内容	授業形態	ICT活用	ICT活用方法	ICT活用カード	ICT活用例	授業設定
2021.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	ボード2	1				
2022.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	動画1	1				
2023.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	ボード2	1				
2024.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	動画1	1				
2025.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	メモ1	1				
2026.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	ボード2	1				
2027.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	PG1	1				

その場合は、画面のようにICT活用カードに写真1を追加します。児童の実態から、写真2の授業の中で写真1の内容を学ぶことで、写真2の活用も行うことができるようになります。児童の実態に合わせて、授業を設定し直していきましょう。

ICTの活用例にはオリジナルの活用を設定することも可能

年度	月	単元	学習目標	学習内容	授業形態	ICT活用	ICT活用方法	ICT活用カード	ICT活用例	授業設定
2021.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	ボード2	1				
2022.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	動画1	1				
2023.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	ボード2	1				
2024.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	メモ1	1				
2025.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	ボード2	1				
2026.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	PG1	1				

ICT活用例には、オリジナルの活用例を設定することも可能です。

活用例に写真2の記入がなくても、設定できる

年度	月	単元	学習目標	学習内容	授業形態	ICT活用	ICT活用方法	ICT活用カード	ICT活用例	授業設定
2021.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	ボード2	1				
2022.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	動画1	1				
2023.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	ボード2	1				
2024.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	メモ1	1				
2025.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	ボード2	1				
2026.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	PG1	1				

例えば、写真2がICTの活用例に記入されていない場合でも、写真2を活用したいのであれば写真2を設定することもできます。

ICT活用カードとICT活用例にオリジナルの活用方法を記入して授業を設定(1を入力)する

年度	月	単元	学習目標	学習内容	授業形態	ICT活用	ICT活用方法	ICT活用カード	ICT活用例	授業設定
2021.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	ボード2	1				
2022.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	動画1	1				
2023.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	ボード2	1				
2024.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	メモ1	1				
2025.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	ボード2	1				
2026.4.8	4月	国語	ひらがなをよめることができる。	ひらがなをよめることができる。	PG1	1				

オリジナルの活用方法を取り入れる場合は、ICT活用例にオリジナルの活用方法を記入し、授業を設定します。

ICT活用カード到達目標

学年	教科	単元	学習内容	ICT活用カード	写真1	写真2	合計
2018.4.8	音楽	4月	おもしろ船のてんぷら	A(1)イ	写真2		1
2018.4.8	図工	4月	おもしろ船のてんぷら	A(1)イ	写真1	プレゼン1	
2012.4.8	図工	4月	おもしろ船のてんぷら	A(2)イ	写真1	動画1	
2013.4.8	図工	4月	おもしろ船のてんぷら	B(1)ア	写真2		
2012.5.8	理科	5月	おもしろ船のてんぷら	B(1)	写真1	動画1	ボード
2015.5.8	図工	5月	おもしろ船のてんぷら	A(2)イ	写真1	プレゼン1	
2018.4.8	算数	6月	おもしろ船のてんぷら	A(6)	写真1		

授業を設定すると、ICT活用カード到達目標の写真の段階1と2に、1ずつ数が足されます。

①目標としているのにカードを設定していない場合  
②設定している枚数では定着が難しいと判断した場合  
→ICT活用カードの活用を増やすなど設定をし直す

ICT活用カード	学校の実際	目標とする	写真1	写真2
ウェブ制作	0	2		
動画制作	0	2		
プレゼン	0	2		
電子メール	0	2		
アンケート	0	2		
インターネット	0	2		
動画	0	2		
プレゼン	0	2		
電子メール	0	2		
インターネット	0	2		
動画	0	1		

色がついている部分は基本情報設定画面で設定した到達目標となっています。活用を目標としているのにICT活用カードを設定していない場合や、設定している枚数では定着が難しいと判断した場合は、ICT活用カードを増やすなど設定をします。

詳細ボタン

クリック

学年	教科	単元	学習内容	ICT活用カード	写真1	写真2	合計
2018.4.8	音楽	4月	おもしろ船のてんぷら	A(1)イ	写真2		1
2018.4.8	図工	4月	おもしろ船のてんぷら	A(1)イ	写真1	プレゼン1	
2012.4.8	図工	4月	おもしろ船のてんぷら	A(2)イ	写真1	動画1	
2013.4.8	図工	4月	おもしろ船のてんぷら	B(1)ア	写真2		
2012.5.8	理科	5月	おもしろ船のてんぷら	B(1)	写真1	動画1	ボード
2015.5.8	図工	5月	おもしろ船のてんぷら	A(2)イ	写真1	プレゼン1	
2018.4.8	算数	6月	おもしろ船のてんぷら	A(6)	写真1		

また、この割り当てた授業の内容を一覧で確認したい場合は、詳細ボタンをクリックします。

学習用ツール確認画面

写真

各教科間でのICT活用カードの設定状況がわかる

教科	写真1	写真2	計
国語	0	2	2
社会	6	0	6
算数	11	1	12
理科	18	2	20
生活	0	0	0
音楽	1	4	5
図工	15	3	18
家庭	0	0	0
体育	0	0	0
外語	0	0	0
道徳	0	0	0
総合	0	0	0
その他	0	0	0
合計	51	12	63

この画面では、各教科間におけるICT活用カードの設定状況が確認できます。教科等横断的な視点での計画作成に活用ください。

教科	写真1	写真2	計
国語	0	2	2
社会	6	0	6
算数	11	1	12
理科	18	2	20
生活	0	0	0
音楽	1	4	5
図工	15	3	18
家庭	0	0	0
体育	0	0	0
外活	0	0	0
道徳	0	0	0
総合	0	0	0
その他	0	0	0
合計	51	12	63

元の画面に戻る場合は  
年間計画設定画面に戻る  
ボタンをクリックする

元の画面に戻るには、年間計画設定画面へ戻るボタンをクリックします。

学年	科目	単元	授業	教科書	教材	評価	ICT活用	備考
3	国語	4月	物語の音読 アナーチップ のラップ	C(1)イ				
3	国語	4月	物語の音読 アナーチップ のラップ	C(1)エ				
3	国語	4月	国語で人を見て おもう	C(2)イ	文書1	ボード2	P/U1	
3	国語	4月	物語の音読 アナーチップ のラップ	C(1)イ	文書2			

授業の設定後は  
計画調整画面で  
年間の計画を調整する

ICTを活用する授業の設定が終わったら、次に計画調整画面で、年間の計画を調整します。

学年	科目	単元	授業	教科書	教材	評価	ICT活用	備考
3	国語	4月	物語の音読 アナーチップ のラップ	C(1)イ				
3	国語	4月	物語の音読 アナーチップ のラップ	C(1)エ				
3	国語	4月	国語で人を見て おもう	C(2)イ	文書1	ボード2	P/U1	
3	国語	4月	物語の音読 アナーチップ のラップ	C(1)イ	文書2			

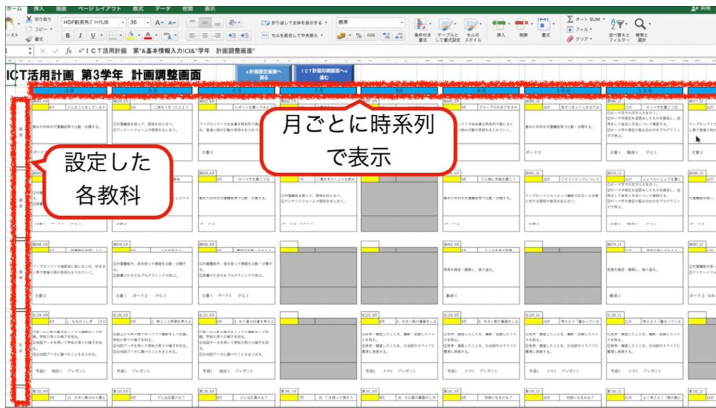
計画調整画面へ進む  
ボタンをクリック

計画調整画面へ進むボタンをクリックしてください。

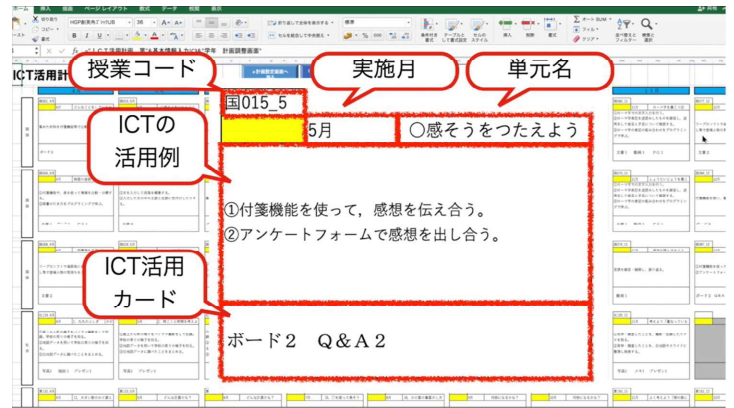
学年	科目	単元	授業	教科書	教材	評価	ICT活用	備考
3	国語	4月	物語の音読 アナーチップ のラップ	C(1)イ				
3	国語	4月	物語の音読 アナーチップ のラップ	C(1)エ				
3	国語	4月	国語で人を見て おもう	C(2)イ	文書1	ボード2	P/U1	
3	国語	4月	物語の音読 アナーチップ のラップ	C(1)イ	文書2			

「計画調整画面」では、さきほど入力したすべての授業が、教科ごと時系列に自動的に配置されます。

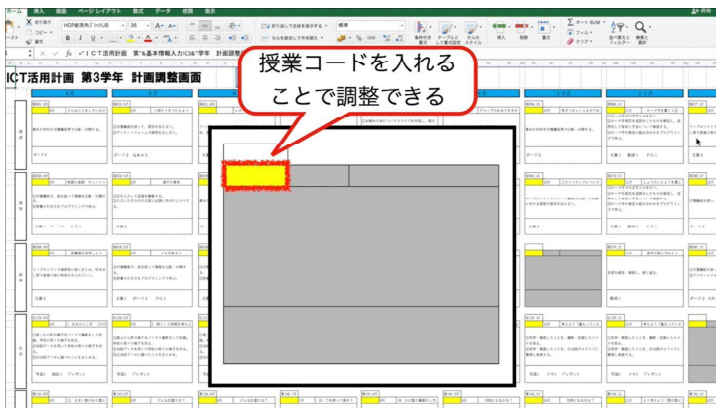




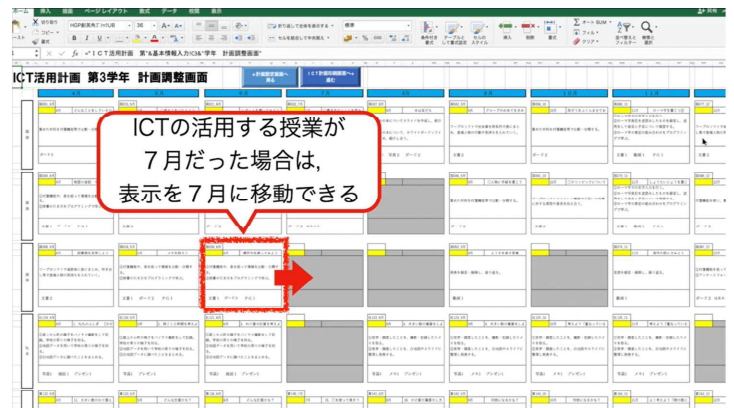
縦軸は設定した教科，横軸は月ごとに時系列で表示されます。



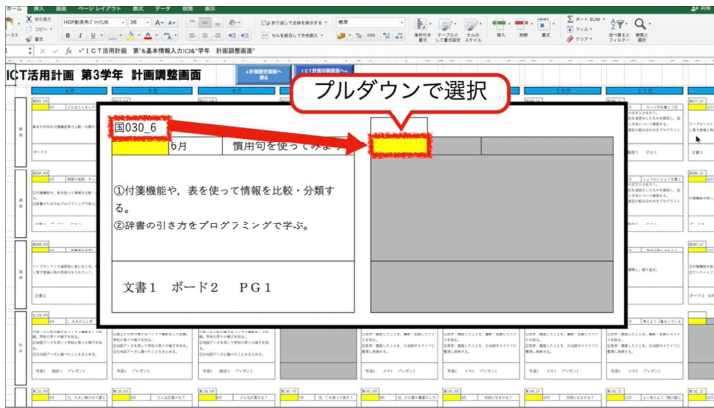
表示されているボックスには、「授業コード」「実施月」「単元名」「ICTの活用例」「使用するICT活用カード」が表示されています。



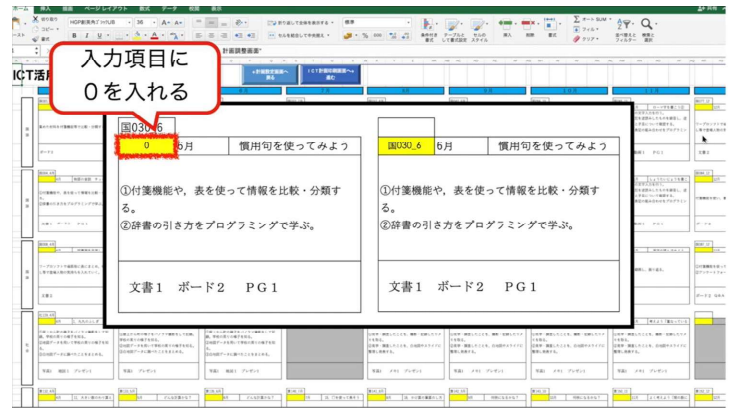
実施月や順番を並べ替えたい場合は，計画調整画面の黄色のセルに授業コードを入れることで，授業の位置を調整することもできます。



例えば，6月から7月にかけて学習する単元については，表示では6月の列に表示されます。しかし，実際にICTを活用する授業が7月だった場合は，次の手順で7月にこの表示を移動することができます。



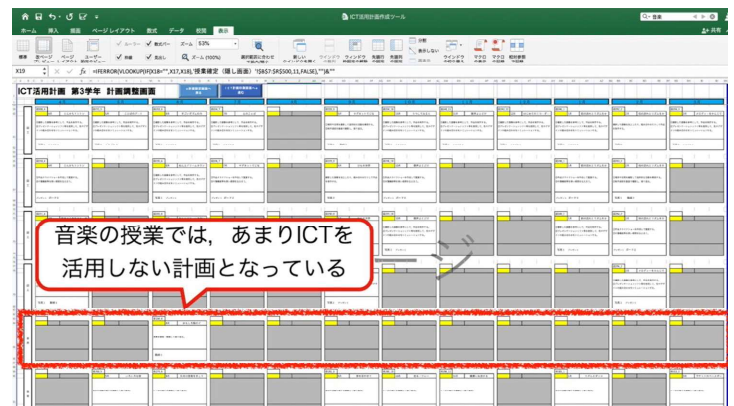
移動したい授業の授業コードを確認し、移動先の黄色のセルのプルダウンから、移動したい授業コードを選択することで、授業が移動できます。



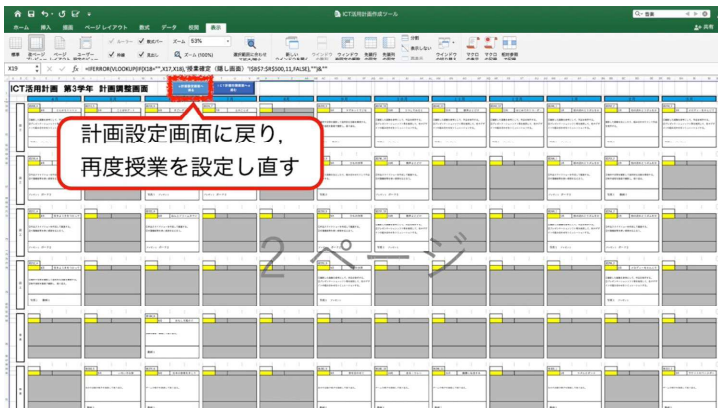
この場合、移動元の授業の表示を消すために、黄色のセルに、0を入れます。0を入れると、授業の表示が消えます。



また計画調整画面で全体の配置を確認することもできます。年間を通してICTの活用方法を確認し、ある特定の教科や特定の時期に偏っていないか等を確認することも大切です。



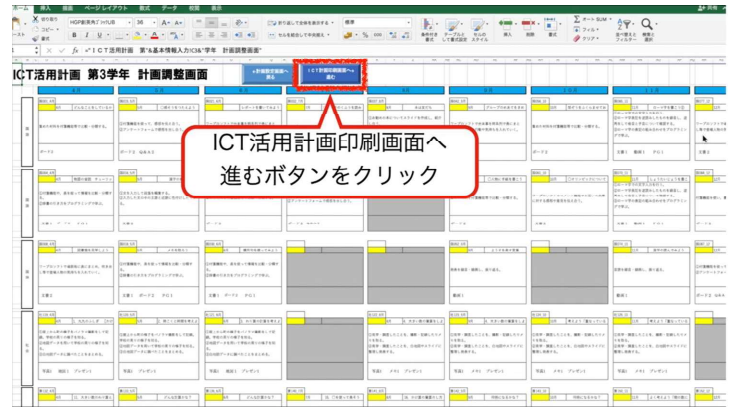
例えば、音楽の授業について見てみると、この画面では音楽の授業ではあまりICTを活用しないような計画となっています。



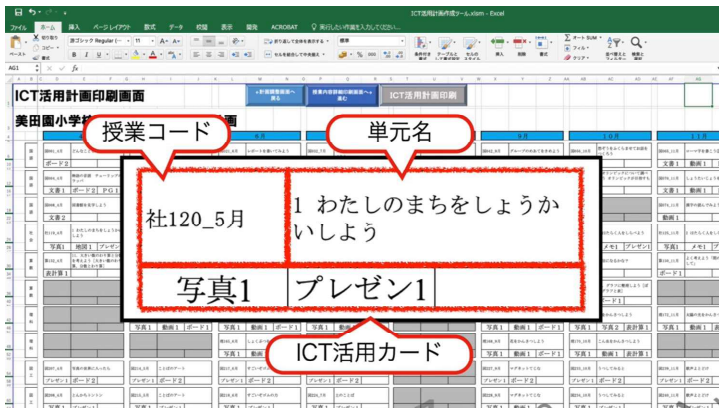
そのため、音楽での活用を増やす場合は、「計画設定画面に戻る」ボタンをクリックし、計画設定画面に戻って授業を設定し直しましょう。このようにして、計画調整画面で、設定した授業の配置を調整することができます。



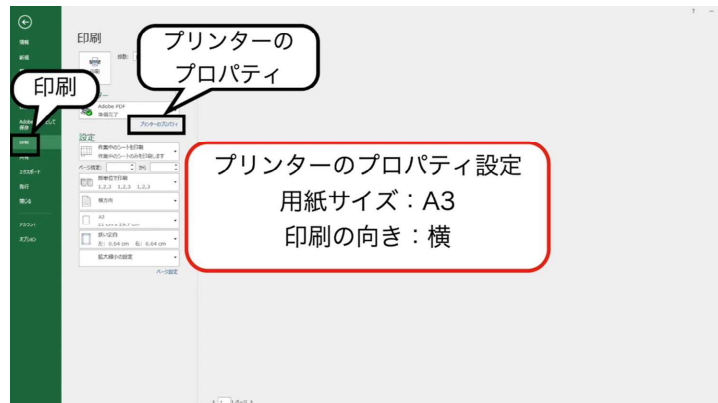
調整完了後は、ICT活用計画印刷画面に進み、ICT活用計画を印刷します。



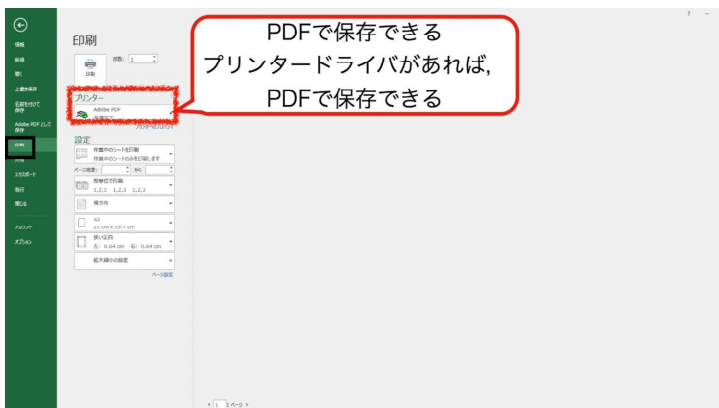
ICT活用計画印刷画面へ進むボタンをクリックしてください。



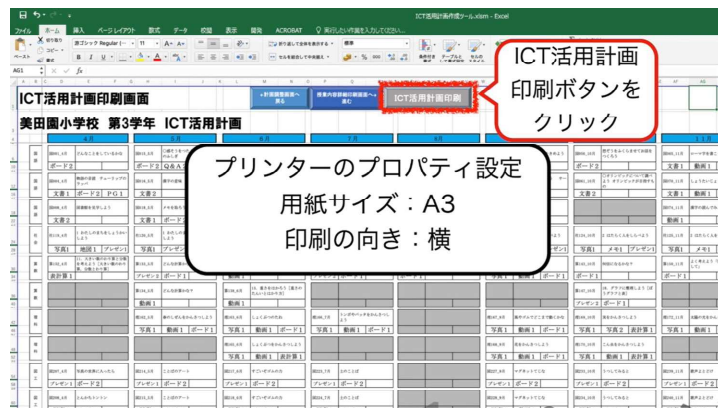
ICT活用計画のボックスには「授業コード」「単元名」、使用する「ICT活用カード」が記載されています。この画面でICT活用計画を印刷することができます。まずはプリンターのプロパティで印刷の設定していきます。



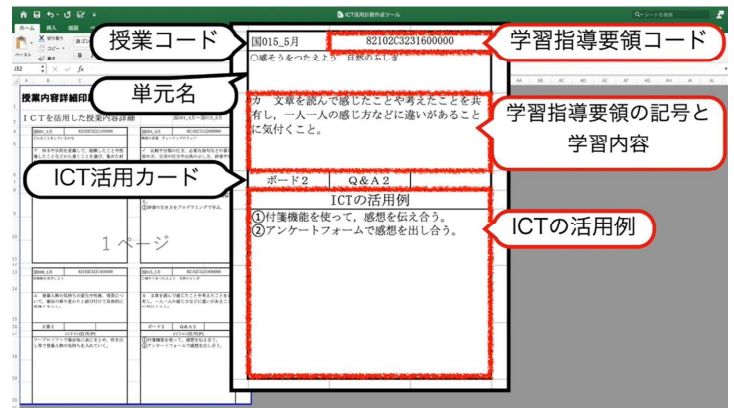
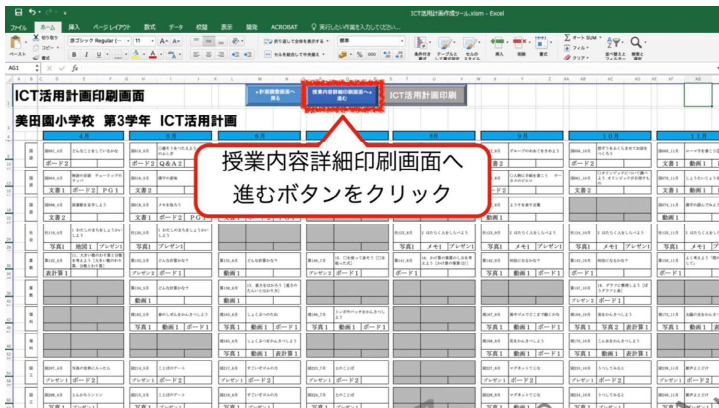
プリンターのプロパティの設定方は まず左上のファイルをクリックします。その後、印刷、プリンターのプロパティの順にクリックし、用紙サイズをA3、印刷の向きを横に設定してください。この設定で印刷をすると、ICT活用計画を見やすく印刷することができます。



なお、PDFで保存できるプリンタードライバがある場合は、PDFでICT活用計画を保存することもできます。

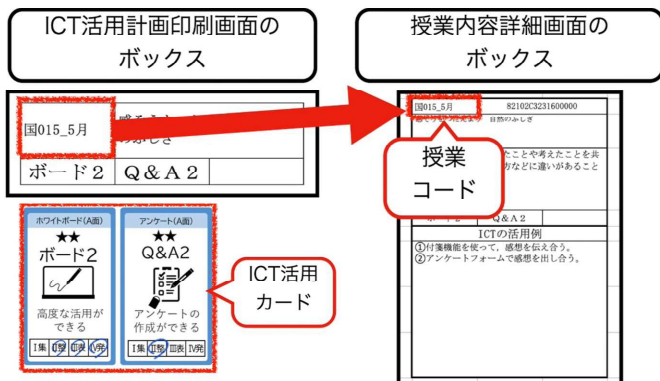


印刷をする場合は、ICT活用計画印刷ボタンをクリックしてください。

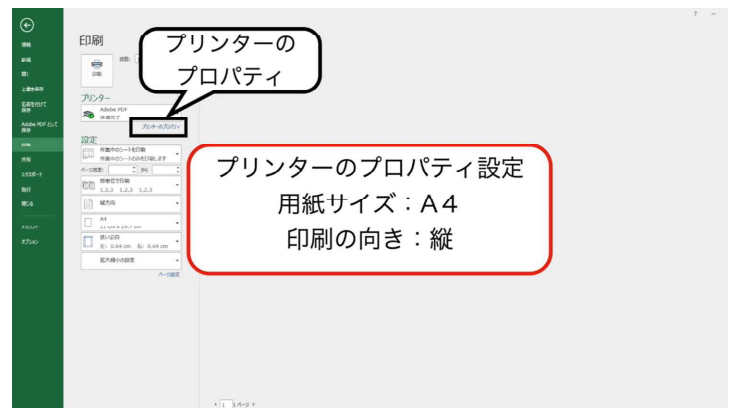


ICTを活用した授業の詳しい内容を印刷したい場合は、「授業内容詳細画面」に移動をして印刷をします。  
画面上にある「授業内容詳細印刷画面へ進む」ボタンをクリックしてください。

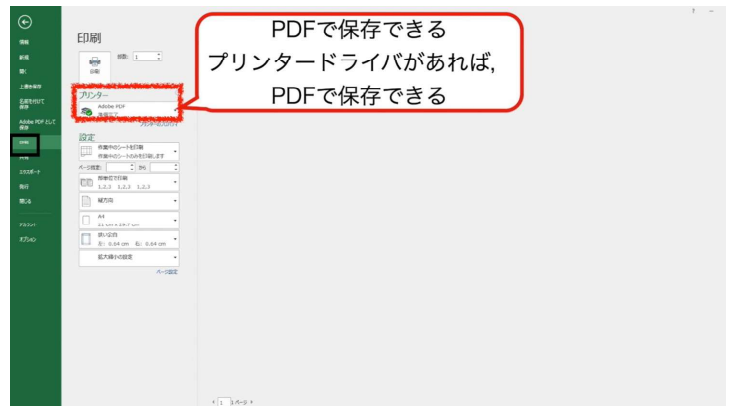
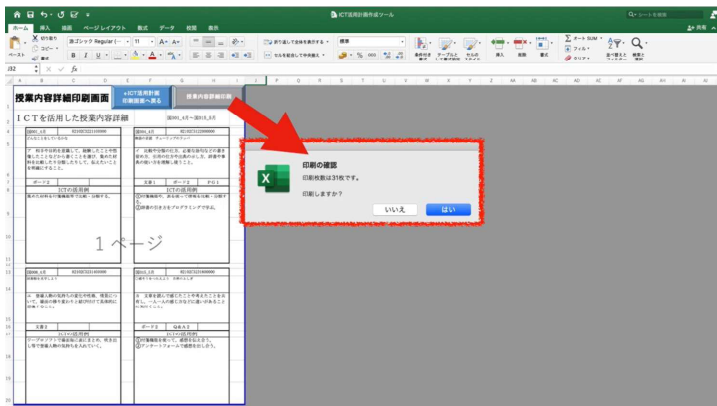
授業内容詳細印刷画面では、「授業コード」「単元名」「ICT活用カード」に加えて、「学習指導要領コード」「学習内容記号と学習内容」「ICTの活用例」が記載されています。



ICT活用計画のボックス内に表示されている「授業コード」と紐づけてありますので、ICT活用カードと合わせて授業で使用できます。



授業内容詳細印刷画面を印刷する場合は、プリンターのプロパティから印刷の設定をします。先程と同様の手順で、用紙サイズをA4、印刷の向きを縦に設定することで、ICT活用計画を見やすく印刷することができます。



右上の、「授業内容詳細印刷」ボタンをクリックすると、設定した授業すべてが印刷されます。印刷枚数の確認メッセージが出てくるので、印刷枚数に問題がなければ、「はい」ボタンをクリックして、印刷をします。また、特定の活用例だけを印刷する場合は、「K4」のセルに数字を入力すると、画面に表示される活用例を変更することができます。左上のファイルをクリックして印刷をしてください。

なお、ICT活用計画同様PDFで出力できるプリンタードライバがある場合は、PDFで授業内容詳細を保存することもできます。